



# ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2025年4月1日

4月 278号

奈良・人と自然の会



＜竹林の中で力を合わせて伐採した竹をチップにしています＞



## Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



|                          |   |                 |    |
|--------------------------|---|-----------------|----|
| ならやまプロジェクト               | 1 | きょうみ森森          | 7  |
| Monthly Repo ならやま        | 2 | こんなことありました      | 8  |
| 里山の今（エコファーム、景観）          | 3 | ギャラリー           | 9  |
| 月例研修会（高取城）・レポ            | 4 | ひとやすみ、奈良学クイズ    | 10 |
| 回想の山旅・シエラネバダ山脈(maroma 山) | 5 | 幹事会報告、行事予告、会員動向 | 11 |
| 旅の記憶                     | 6 |                 |    |

## ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず  
あなたも私も・力合わせて

お水取りが過ぎて春到来と思いきや強い寒の戻り、お彼岸を過ぎてからは初夏の陽気と目まぐるしい気候の変化に戸惑ってしまう。ようやく出番となった南高梅が匂い立つように咲き誇っている。ちぢこまっていた桜もこの陽気で一挙に開花しそうだ。4月3日にはならやまで新入会員歓迎を兼ねた桜まつりが予定されているが、きっと満開の川井桜がまつりを盛り上げてくれることだろう。

たくさんの自然の仲間たちが目覚めて助走を始めた。私たちも新しい春を迎えてまた若返ろう(^^)/



ようやく私の季節、と南高梅  
(BC 前の梅林 3月13日)

### 4月の活動特記事項

活動日：3(木)、10(木)、17(木)、24(木)

4月3日(木)：ならやま桜まつり、春のならやま観察会

4月10日(木)：協働活動(アダプトプログラム)

### 4月の各グループ活動予定

| グループ   | 活動予定                                                                          |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 里山     | 里山林内整備、薪棚更新、薪割り<br>チップ処理(機関車広場)、遊びの森遊具整備(丸太渡り)<br>遊びの森奥楢木置場整理                 |
| エコファーム | 水田の整備・粃撒き、野菜の定植、里芋植え付け、<br>サツマイモ畑の準備、鹿害予防ネットの補修、野菜の収穫                         |
| 景観     | 整備：竹林の整備、チップ作業、草刈り、タケノコ堀り<br>ビオ：タナゴ池の点検・整備、池・水路の景観保全・整備<br>花：道路沿い、駐車場周辺花壇の草引き |
| パトロール  | 1～3コースパトロール、ならやま観察会<br>観察路整備、保護植物周辺整備、樹木銘板取り付け<br>水路の小橋架け替え                   |
| 果樹     | 実りの森のグランドレベル調整、果樹の畝づくり<br>柑橘類剪定・枝の誘引、竹チップの収集、山菜の収穫<br>果樹講習会                   |

活動日：毎週木曜日 9:00～15:00

前日の17時発表の気象庁予報(NHKTV(奈良)19時前放送)の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止





## Monthly Repo. ならやま

富井 忠雄

### 2月22日(土) 曇りのち雪 44名

昨年4月から開始した土曜活動は今日で一旦終了となる。今年一番の冷え込みで雪が舞い、野菜の提供後は自由活動とした。先週のシタケイベントの報告、月例研修会の案内とひな人形の説明があった。

里山は楢木の移動、杉丸太の皮むきなど。エコGはじゃが芋畑に防草シートを張り、鹿ネットを竹で固定、白菜などの収穫。景観Gはチップパー機が故障し作業があまり進まず。花班は炊事当番と周辺掃除など。バイオ班はバイオエリアの水路の掃除と泥上げ、東池の工事の状態調査。パトロールGは1コースのパトロール、観察路整備、桜山の笹刈り。果樹Gは竹チップを果樹の根元にマルチング、記念植樹の看板付替え。

### 2月27日(木) 晴 69名

先週と一転、今年1番の暖かい日となった。会報誌を配布、会員が作成したひな人形の披露、月例研修会、のらの会の案内。

里山Gは林内整備、玉切の搬出、薪割りとは



然の森の危険木の処理。エコGは新旧のビニールハウスにシートを張る。九条ネギの植付け、白菜などの収穫。景観Gは

チップパー作業など。花班は山野草園の草引きと剪定。バイオ班はドジョウ池の入口の改修、木道の床板の交換など。パトロールGは2コースのパトロール、四季の丘、桜山の草刈り、観察路整備。果樹Gは牛糞の搬入、ブルーベリーの畝作り、実りの森フェンス内の土壌改良作業など。

### 3月6日(木) 晴 61名

協働活動として、里山Gの指導で椎茸菌打ちと天地返しを行う。のらの会、わいわい桜祭り、



月例研修会(上野森林公園)の案内。池田さんの米寿の祝い。

里山Gは協働活動、薪割り。エコGは玉

葱の追肥、鹿除けネット設置、小かぶなどの収穫。景観Gは竹林整備など。花班は千両の移植と草引き。バイオ班は南水田東の湿地の補修。パトロールGは3コースのパトロール、観察会の下見。果樹Gはウコンなどの畑の準備、実りの森の土壌改良作業。

### 3月13日(木) 晴 71名+1名

高校入学前15歳の少女が活動に見学参加。

里山Gは薪棚床補修、椎茸楢木菌打ち。エコGは春大根などの種まき、鹿害ネットの設置。景観Gは竹林整備など。花班は花壇の草取り。バイオ班はドジョウ池の柵作り、水路の掃除と泥上げ。パトロールGは1コースのパトロール、観察路整備など。果樹Gはウコンなどの植付け準備、実りの森の土壌改良作業など。

### 3月20日(木) 晴 66名

寒い日となった。わいわい桜祭りとならやま桜祭りの打合せ。4月6日のコンニャク作りの案内。里山Gが参加希望者を募集し、協働で椎茸収穫とドングリの苗床への移植を行う。

里山Gはコナラなどの苗床の整理と植付け、松林の整理、薪用の玉切。エコGはキャベツなどのポット詰め替え、堆肥作り、白菜などの収穫。景観Gは竹林のチップパー作業。花班はイチハツの草引き。バイオ班はタナゴ池水路の整備。パトロールGは2コースのパトロール、ならやま観察会の準備。果樹Gは講師を招いて柑橘類の剪定を行う。

## エコファームグループ

暑さ寒さに負けない  
ならやまの野菜たち

三瀬 英信

今年はいつもより冬が長いなあ～と感じました。雨なしの日々と極寒が続いた1年でしたが、ならやまの野菜たちは生き絶え絶えに過ごしていました。全ての野菜たちは成長不足のままで収穫される羽目になってしまいました。

冬野菜がほぼ終わり、春野菜の収穫にはまだ時間がかかりますので「ほのぼのの市場」が途切れることがあるかも知れません。不揃いや未成熟品の「ほのぼのの市場」でも会員のみなさんが整然と並んで「ほのぼのの寄金」に協力しようと買っていていただきます。時にはスーパーの野菜とのコスパに疑問を持たれても「エコも頑張っているんやから…」と声をかけてくれる方もおられます。嬉しいことです。

冬は木枯らしの中、夏は灼熱の太陽の下、エコの作業は大変厳しいことが多いです。そんな中で休憩のお茶会のひとは、笑顔と他愛のない会話がはずむ安らぎのひと時です。ある人曰く「この時間が一番の楽しみや!」と。

エコグループの平均年齢は推定で78歳です。幸い若いご夫婦が入会されて平均年齢引き下げに寄与していますが、毎年高齢化の一途を辿っています。

「それぞれの体力、その日の体調とも相談しながら、毎週は来れなくても、定時に来れなくても、半日しか働けなくても」みんなに会いにならやまに行こう!と思える「安らぎのならやま」であることがとても大切です。

ならやまに一人でも多くの方が足を運び元気に過ごすことにより会の目的も達成されるでしょう。

ならやまは老化予防に最適な場所だと思います。これからも仲間との絆を糧に一日でも長くならやまに出向き、明るく、楽しくエコファーム活動を続けられるよう願っています。



## 景観グループ

鹿との共生

中川 徹

奈良公園の鹿は2024年7月の「奈良の鹿愛護会」の調査では1325頭であった。3年連続で増加しているそうである。

春日大社が神の使いとして1000年以上、保護している野生動物である。奈良教育大学等の最近のDNA研究によると独自の遺伝子型をしていると判明した。

数年前から実りの森で鹿の姿を見かけることが多くなった。それらの鹿は奈良公園の鹿と比べ動作が敏捷で体色が少し黒いと思っていた。奈良公園の鹿と遺伝子型がちがったので納得です。現在ではならやまのいたるところに出現しています。

私は実りの森近くで家庭菜園を10年以上している。カラス、ヒヨドリ等の空からの攻撃、モグラ、タヌキ、アライグマの害で困っていました。しかし、ここ2、3年の鹿害は悲惨です。昨年のジャガイモ、タマネギは全滅でした。

畑の周囲に柵をして対策をとっていましたが、柵を飛び越えて、また柵を押し倒し侵入していました。

角を切断された奈良公園の鹿も時には見かけますが、夜間に活動している公園以外の鹿が主に食害をしていると思っています。現在は3頭のグループと若い4頭のグループが常にいます。奈良市一円の鹿は1957年に国の天然記念物になりました。

野原の減少、個体数の増加、公園以外からの流入とかで農地を荒らしています。被害された野菜を見ると栽培意欲がなくなります。

奈良に住む限り、鹿と共に生きていかなくてはと思っていますが、頭が痛いことです。



## 月例研修会レポ

### 高取城跡～土佐街道

(思い違い2人のレポ)

岩崎 雅子

何で乗ってないの？と西大寺で2人いた。

壺阪山駅で1人来た。

発車寸前のバスがせかせている。幹事さんはいないけど乗ろ乗ろと乗り込む。

こうなれば4人で決行しよう！と霧雨の山道を登る。分岐が多く迷う。なるべく歩きやすい方へと。結構きつい。団体で連れてもらってるのとはちがい道をさがすのもまた面白い。

高取山に近づく頃には春雨となり傘の出番。

四阿を見つけてとびこむ。それぞれの弁当を広げてホッとする。コーヒータ임も終わったころ、ゾロゾロとぬれた若い15、16人のハイカーがきたので席をゆずる。

下山は猿石をみて土佐街道へ。復活したおひなさまをみて、途中の観光案内所の夢創館に雨宿りがてらに入り、座らせてもらう。尾崎さんがおかきを2袋買った。「そこにあるお米、すぐに売れるんです」と上品なお店番のオクサマ。

「買う！」と2kg、ザックに入れる。参加者のケーキが残っていたので「おやつにどうぞ」とあげたらえらく恐縮された。帰りぎわに奥から「割れて売れないのでどうぞ」と高取城せんべいをいただいた。まさしく“エビでタイ”だ。

雨天順延日、降水確率50%組の記憶に残る珍道中であつた。



尾崎 信次

3日に「明日の高取城跡～土佐街道の例会は降水確率70%になりましたので中止いたします。」とのメールがあり。約4人、4日は中止、5日に順延で天気予報に従うと認識！5日の降水確率は50%、出て行くが他に人がいない。ここで5日も含めての中止だと知る。

折角だからとバスで壺阪寺へ、雨も降っていないので高取城跡へ登ることにする。結構険しい、分かれては合流する山道、経験者やアプリYAMAP

に従って登っていく。高取城域に入った頃に雨が降り出し、雨カップを被る。だんだん雨脚が強くなっていく中、11時半頃、二の丸跡近くで四阿を見つけ、逃げ込み、そこで昼食を取る。

雨が小降りになってきて、出発前に私は本丸跡まで登る。霧雨状態で見晴らしは悪いが、ちょっと幻想的な写真を撮って急いで戻る。大手道を下っていく。結構な急坂で距離もあったが、階段になっていて、歩くのには問題はない。

途中で雨もやんで、土佐街道へ。町家や商店に展示されたひな人形を見て歩く。特に雛の里親館の500体17段からなる天段の雛は圧巻だった。





回想の山旅⑤ スペイン・アンダルシア  
シエラ・ネバダ山脈  
Mt Maroma(マロマ山 2065m)

中井 弘

アンダルシア州の東端に位置する「シエラ・ネバダ山脈」にはイベリア半島最高峰ムラセン山 3478mをはじめ 3 千 m 級の山が連なる。今回はこの山脈の最西端に位置する標高 2065m のマロマ山に登ることにした。我が家のあるマルベージャ市から登山口まで車で 2 時間、100 km 東に位置する。

地図上では登山道がはっきりしない。麓のガソリンスタンドの若者に聞くとカニラス村から登れるらしい。愛車を村の駐車場に止め緑陰で憩っている老人たちに登山口を聞く。噴水の横から登る道があるが、若いころ登ったきりで登山道の記憶は定かでないという。

白い家々の狭い坂道から山道に入り村の全景が眺められる台地に出た。ミサの開始を告げる教会の鐘の音が響き渡ってくる。三叉路に出てどの道を登るか思案していると、羊を追って羊飼いがやってきた。聞くと身振り手振りで水場を目指してひたすら登れという。眼下にはいくつもの尾根が連なって地中海に落ちている。

どこから水が?と思うようなところに細いパイプが引かれチョロチョロ出ている。斜面を縫うように細い道を登る。樹木は見られないが路傍にはいろいろな花が咲き乱れている。時間が心配になってきた時、中年の夫婦が下ってきた。「あなたが登ってくるのを見ていたが早いぞ。日本人ですか」。「そうです。頂上まで何時間かかりましたか」。「4 時間でしたが、あなたの足では 3 時間で登れるでしょう」。

水のない谷を隔てて白い瓦を敷き詰めたような広大な山塊が現れた。道は頂上から派生している岩ばかりの尾根をいくつか横切る。瓦礫地のルンゼではイワツメクサが岩にはりついて咲き乱れている。見上げるとかなりの高みにいくつものピークが見えてきた。ケルンを頼りに最も高いピークを目指して踏み跡を辿ると平坦

な瓦礫の台地に出た。だっ広いマロマ山の頂上である。5 m ほどのモニュメントがあり登ってみるが、天気が良すぎて地中海も周辺の山々も霞んでいる。

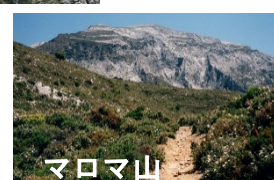
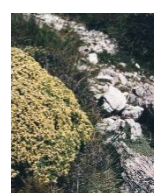
他のルートから登り着いた若者のグループからスペインの家庭料理トルティーリャをご馳走になった。時間が気になり別れの挨拶で男性とは握手したが、女性とは軽く抱き合っただけで左右の頬を合わせた。少し照れてギコチナイ。

登ってきた道を下る。山頂から 2 千 m 付近にかけてモレーン（堆積）などの氷河地形がみられるが、谷が深く地中海に向かって急傾斜で落ち込んでいる。登りで見たカモシカだろうか岩の斜面を駆け上がって逃げていく。

夕陽を受ける美しい山々や村落を眼下に見ながら、予定よりも 2 時間も早く村に降り立った。教会前の広場には数人の老人が雑談していたが、なんと登る時に見たのと同じメンバーだ。考えてみれば今日は日曜の安息日だ。

帰途はサングラスを掛けても眩しすぎる西陽に何度も車を止める。夕陽の陰影でくっきりと美しく輝く数々の白い村やアンダルシアの山々を背に、夕陽を正面から受けながら「太陽海岸（コスタデルソル）」を、居住地マルベージャ市に向かって家路についた。

(注)シエラ・ネバダ山脈は「積雪のある山脈」のスペイン語。米国・カリフォルニア州にスペインと同名の地名、山名や川名が多いが、15～17 世紀スペインが新大陸西部を植民地化した際、北部海岸地域の領有宣言で、地名にスペインと同じ名を付けたことが始まりという。



(2002 年 5 月 27 日 スペインにて)

## 旅の記憶 日帰りバスツアー ②

2024年9月

國方 まり子

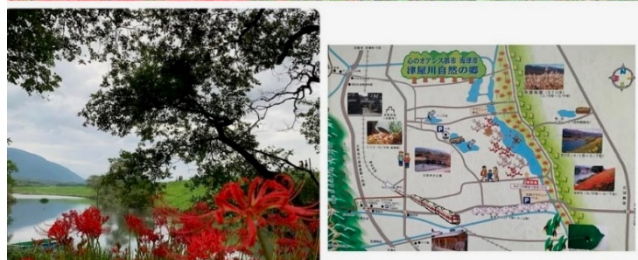
前回に続き、「無料招待状」を利用して楽しんだ日帰りバスツアーをご紹介します。

### 2024年9月29日(日) 初秋の近江八幡～曼珠沙華ロードの旅



ランチ後、金亀酒造を見学しました。

初秋の近江八幡と曼珠沙華ロードは、これまで行ったことがなかったので参加しました。



津屋川彼岸花群生地巡り。时期的に開花が遅れていて、これからという状態でしたが、きれいでした。

「土手一面に咲いたら、さぞかし…」なんて想像しながら歩きました。



ロープウェイで八幡山（はちまんやま）に登り、散策して下山しました。

「無料」と「お買い得」に弱いおばさんの「日帰り無料招待バスツアー」の思い出でした。



## きょうみ 森森

このコーナーは、会員の紹介をいたします。  
仲間の新たな魅力をお伝えするものです。  
**今回は、山崎 久平 さん (2018年入会)**

愛読書は、保坂隆著作の「年金生活で精神科医が教えるお金に振り回されない安心老後術」という本です。

人生に影響を与えてくれた人は、東京大学経営学部教授の岡本康夫先生です。

故郷の自慢は、「三陽公園」の5万本のつつじ。私も労働奉仕で一部植えました。

私は、昭和58年、60年、61年と続けて大水害に遭い、所有していた4店舗のスーパーマーケットを失い、そのたびに商店や機械を全部棄てました。「町を潰すまい。存続、再興を」と共同店舗を立ち上げ、莫大な借り入れを作りましたが、家族の協力で全額完済。田舎の家も処分し墓じまいも終えて、家族には感謝しかありません。

人生最後に食べたいものは「のどぐろの煮付け」です。

苦手なことは、パソコンやスマートフォンの操作。

タイムマシンに乗れるとしたら、65年前、八幡平に行った場所へ。地元の人に「昨日、一昨日と熊を捕った。今から山へ入ると熊が出るから気を付けて」と注意されましたが、3日間歩きました。道のほとりの小川の露天風呂に入りながら、八甲田山、十和田湖へと旅したあの思い出の地へ。

かつての自分にかける言葉は「やれやれ苦難が終わった。よくやった」



山崎久平さんは、とても誠実な方です。経営学を学ばれて、それをご自分だけでなく、町の復興にも活かしてられました。ご家族への思いやペットに対する愛情も深く、たくさんのエピソードについて笑みを浮かべて語ってくださいました。一見寡黙な中にも「人と自然の会」への情熱を秘めておられることも分かりました。

好きなスポーツは、山を歩き回ること。高校時代は山岳部に在籍しました。

「人と自然の会」の魅力について。田舎に住んでいたとき、周りは草が刈られて整備され、そのときの雰囲気思い出されます。このような「自然の会」は他にはなかなかなく、今の雰囲気を残していきたいです。

愛犬ダンとの思い出。妻の母がガンで入院したとき島根広島間、130kmあったのですが、3日おきに看病に行くのについてきて、夜遅くまで車の中で静かに待っていました。また、数匹のイノシシに遭遇したときも果敢に追い返してくれました。



山崎さんの好きな赤いバラの花言葉「純粋な愛」「あなたに尽くします」

今後の目標は「ピンピンコロリ」です。



## 奈良市 子どもセンターに ボルタリングボードを寄贈

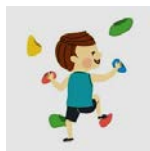
千載 輝重

会員の辻さん宅ではお孫さんも大きくなり、ご主人と丹精込めて作った幼児用遊具「ボルタリングボード」が不要となり、当会で有効利用できないか相談がありました。対象年齢が低すぎてイベントでの利用は難しく、解体してインフラ資材にでも使うことも考えました。しかしながら、丹精込めて作られたその出来栄と保管状態の良さを見るに解体するには忍びず、幼児遊具として提供できる先として奈良市子どもセンターに打診したところ大変喜んでいただきました。受け取っていただいたときの担当の方

の笑顔に、小さな子供たちが楽しそうに戯れる姿が重なりました。(3月6日)



マスクの下はきっと  
はちきれんばかりの笑顔です



## 突然ならやまに舞い降りた 天使のような少女

千載 輝重

「奈良県在住の15歳ですが、自然保護活動に興味があって、活動に参加してお話が聞きたい」とのメールが届きました。えっ！15歳？まずはお電話をいただくことにしました。私たちの会のことをよく知っていますか？私たちはかなりの高齢者で「あなたのおじいさん、おばあさん」の集団ですよ。ご期待に沿えるかな？こんな問いかけにも「はい。知っています。興味があって一度参加してお話を聞きたい」とのこと。で、3月13日にお迎えしました。

朝8時45分、活動に参加するなら作業ができるようにとの忠告に従ってジャージ姿で登場。朝礼で紹介するとどよめきが。それはそうです。

年の差60歳あまり。ひょっとして入会してもらえれば平均年齢はぐっと下がります。

里山林内を案内した後、椎茸菌打ち、春野菜の種蒔き、午後は観察路を歩いて果樹園へと、終礼を含めて15時まで目一杯、精力的に活動参加いただきました。「いろいろな活動でいろいろな人とお話ができてとっても楽しかった」との感想。

残念ながら入会は決断いただけませんでしたが、天使のような少女の笑顔にたくさんの元気をもらった一日でした。



吉崎佳穂さん  
きっとまた来てくださいね

## 幸せの黄色いレシートキャンペーンに 協賛参加

清原 正彦

「イオン高の原店」で毎月11日、投函・回収されたレシート総額の1%をボランティア活動に供される「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に団体登録、協賛参加させていただくことになりました。

3月11日に初めて当会の投函箱が設置され、千載会長と私の二人が立ち合い参加し、たくさんの善意をいただきました。レシートを投函した方には当会の案内チラシもお渡しして広報活動にもつなげました。



会活動の原資になります。毎月11日に「イオン高の原店」で買い物をされましたらご協力をお願いします。





水彩画 生駒神社の桜 高間 祥子

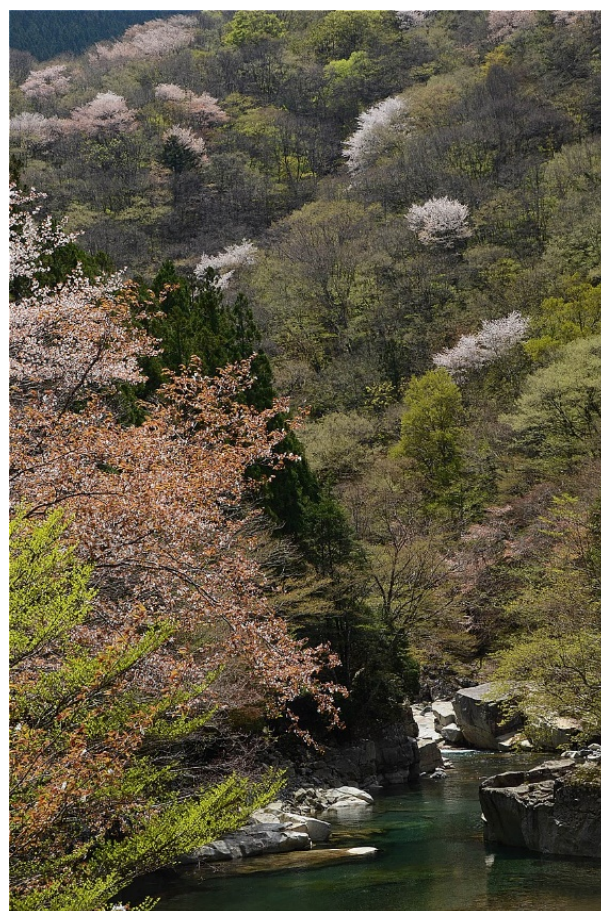


写真 春山笑うが如し 中井 弘



陶芸 陶あかり 國方 まり子



つる細工 クズの籠 菊川 年明

掲載作品はホームページではカラーでご覧いただけます。皆さまからの作品のご応募をお待ちしております。絵画・陶芸・写真・墨絵・手芸・パッチワーク・切り絵・自然工作など。



## ひとやすみ



日頃活動しているならやまを空から見てみたらどんな風に見えるのか興味はありませんか。自分の目で地上1.5mから見ると、鳥になって見るのとではどのように違うのでしょうか。

まず、四季の丘の上空から西の方向を見てみました。遠くに生駒山が見えます。山の中の山里のようですね。



次は南の方からベースキャンプを見てみました。すぐ後ろは人が住んでいる街です。大きな太陽光発電の施設があるのを知ってましたか。



最後は南から高度を下げてベースキャンプを見てみます。一言、良いところだなあと思いませんか。ここが我々の居場所ですね。



## 奈良学クイズ

1. 次の文章について以下の問いにお答えください。

奈良という街に思いを巡らせるとき、いつも思い出されるのに『伊勢物語』があります。この物語は有原業平の一代記とも言えます。

業平と所縁の深い所が、平城京の北西にある金峰山不退転法起寺(不退寺)です。このお寺は、業平が父・阿保親王の菩提を弔うために、747年に建立したものです。

《問1》記述の間違っている所を全て取り上げて、(誤字)→(正しい字)のように正しい記述をお答えください。

《問2》この寺は、( )の寺としても知られています。

( )に当てはまる漢字一文字をお答えください。

2. 次の写真は、国宝に指定されている『十一面観音菩薩』です。県内の寺院に所蔵されているものを選び、寺院名をお答えください。



(1)



(2)

### 【応募要領】

締切：4月5日(土)・pm11:59

記念品：自然木〇〇〇作品?

応募方法：Mail

## 2025年3月度幹事会報告

開催日：2月25日



寒くないと思ったら、4月の陽気になり、そして、一転して冬に逆戻り。生き物はどうしているのかな。

### I. 会計・総務より

- ・会員動向：会員数130名(家族会員13名)
- ・会計：収支報告

### II. 活動・行事に関する議題・懸案・確認

#### 1. 3ヶ月活動スケジュール検討・確認

- ・昼の豚汁提供は3月20日までとする
- ・佐保川ワイワイ桜祭り(3/29)の参加内容決定、スタッフ募集開始
- ・ならやま桜祭り(4/3)は新入会員歓迎を合わせた親睦の場とし、春のならやま観察会とのコラボ検討

#### 2. 2025年度イベント計画

- ・2025年度総会は5月24日とする
- ・「春の感謝祭」(6/26)は「感謝祭」とする
- ・里山で遊ぼう(7/12)の内容検討(飯盒炊爨の実施について次回幹事会で決定)
- ・朝日親と子の自然教室の実施については先方からの連絡を待って最終確定

### III. 助成金関係

- ・進捗状況、申請状況を確認

### IV. 特定議題

- ・2025年度の概算予算案では各グループからの支出申請をすべて組み込んでほぼ収支均衡がとれる見通しである。
- ・総会は5月24日開催とし、総会資料は一次案を3/25幹事会までに作成し、4/26幹事会で最終化する

### V. 広報関係

- ・会報誌の編成、執筆者の確認

### VI. 報告・連絡事項、その他

1. 月例研修会、3/4高取城、4/8伊賀上野
  2. 佐保川小学校学習支援は4月実施？(佐保川小学校との確認必要)
- 自然教室の体制について調整中

#### 3. その他

次回幹事会は3/25(火) 中部公民館 14:00

啓蟄という言葉思い出し、早速webで調べてみた。「啓蟄は二十四節気の一つ。太陽の動きに合わせて24等分して決められ、今年は3月5日～3月19日」で、冬ごもりしていた虫が這い出てくる頃だそう。ならやまは静かで、虫に動きはない。もう出てきてもいい頃なのに。

しかし、この頃、やたらに外に出て行きたい気分。自転車やカメラを手入れしたりして、動き出す準備に余念が無い。人間も二十四節気に合わせて動いているのだろうか。

今、人間の時間は太陽暦由来だが、原子時計が時を刻んでいて、自然の動きとの関係性は薄れてしまっているのかも知れない。でも、自然の時間(二十四節気)に合わせて過ごしたい。ゆったりと自然の中で生きる虫と同じように。

\*\*\*\*\*

### 5月ならやま活動&行事予告

\*ならやま活動 5/1 協働活動日

5/24 総会 中部公民館

\*自然教室 5/19 枚岡から石切 自然観察会

#### 会員動向(敬称略)

<入会者> 2/22 よし川 明美  
3/20 矢野 かつみ  
<退会者> 2/27 上田 忍  
3/5 田中 克治  
3/6 辻本 正則

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: [editor@naranature.com](mailto:editor@naranature.com)

編集委員：青木(幸)・尾崎・柴田・千載・田中・戸田

表紙写真：竹林の中でチッパー機を使って竹を細かく砕いています。